

# 日ごろから災害にそなえて準備しよう

いざ避難する時のため日ごろからしっかり準備しておきましょう。

備蓄品や非常時の持ち出し品の購入や確認をしておきましょう。



夜寝る時は、懐中電灯、携帯電話、靴(スリッパ)などをすぐ近くにおいておきましょう。



自宅の周辺の危険な箇所について、知っておきましょう。家族で災害時の連絡方法や集合場所などを決めておきましょう。

※ 災害時に連絡を取る方法として、災害用伝言ダイヤルなどのサービスなどがあります。



## ● 大雨、台風、洪水などの被害を防ぐ事前対策

風水害の被害を軽減するため、自宅周辺で飛ばされたり倒れたりするものがないか点検しましょう。また、浸水が予想される地域では土のう等を準備しておきましょう。

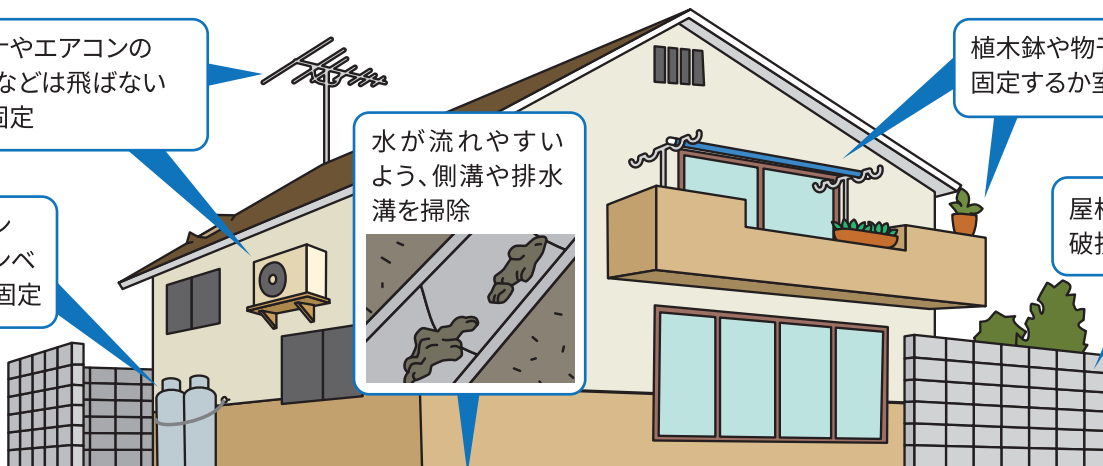
アンテナやエアコンの室外機などは飛ばないように固定

プロパンガスボンベは壁に固定

水が流れやすいよう、側溝や排水溝を掃除

植木鉢や物干しは固定するか室内に移動

屋根や塀の破損などを補強



## ● 地震被害を防ぐ事前対策

地震は突然やってきます。いざ地震が起こった時に被害を軽減できるよう対策をしておきましょう。

安全なスペースの確保

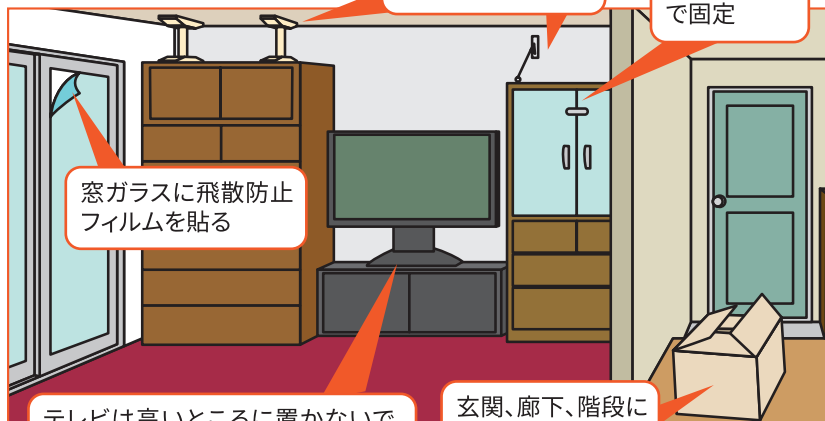
たんす、棚、冷蔵庫などの転倒防止

戸棚の引き戸は留め金で固定

窓ガラスに飛散防止フィルムを貼る

テレビは高いところに置かないで、バンドや粘着シートで固定

玄関、廊下、階段に避難をさまたげる物を置かない

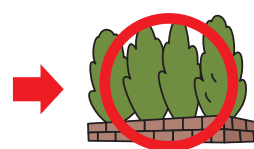
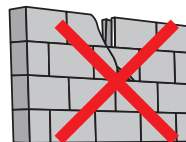


## ● ブロック塀や落下しそうなものへの対策

● ブロック塀は、倒壊しないように補強するか、生け垣化するなどの対策をしましょう。



● 屋根瓦、植木鉢、エアコンの室外機などは、落下防止の対策をしましょう。



## ● 住宅の耐震補強

● 昭和56年(1981年)以前に建てられた木造住宅は、耐震診断及び耐震改修に補助があります。詳しくは町役場までお問い合わせください。

